

## 禅学関係雑誌論文目録 (2007年)

著者	論 題	誌 名	巻(号)	発行 月
【思 想】				
Faure Bernard モリス・ジョナサン[訳] 和久井洋子[他訳]	翻訳 ベルナル・フォール 「禅宗史の再考」	日本思想史研究	39	3
RUGGERI Anna	禅の教育と体験の重要性(2): 「大死」を通して	研究論叢	69	7
Russeri Anna	白隠の唯識観 - 「四智辨」を 通して	花園大学国際禅学 研究所論叢	2	3
Wolfe Stephen	芭蕉の“秋深き”の死 - 禅の 心か最終の絶望か	龍谷大学国際セン ター研究年報	16	3
浅 倉 祐一郎	西田幾多郎とK・フィード ラー - その芸術論をめぐって	比較思想研究	34	3
浅 見 洋	大拙「日本の靈性」と西田「宗 教論」の相関関係	北陸宗教文化	19	3
粟 谷 良 道	『正法眼蔵』における行仏の 思想	印度學佛教學研究	55(2)	3
伊 東 大 輔	「神無論」についての一考察: キリスト教神秘思想と禅思想 の比較研究 (岸英司名誉教授 追悼記念号)	サピエンチア: 英 知大学論叢	41	2
今 村 純 子	芸術と倫理 - シモーヌ・ヴェ イユと西田幾多郎	比較思想研究	34	3
岩 田 文 昭	京都学派の宗教哲学と宗教思 想 (近代日本と宗教学 - 複数 性と系譜をめぐって -	宗教研究	80(4)	3
上 野 正 二	オイゲン・ヘリゲルの禅理解: 鈴木大拙の掌上で	大分県立芸術文化 短期大学研究紀要	45	
大 橋 崇 弘	道元とメルロ・ポンティ - 立ち あられる世界に対する視点	比較思想研究	34	3
大 村 哲 夫	継承される宗教経験「悟り」 - 「伝光録」にみる「悟」から	論集	34	
小笠原 眞	「日本の近代化と禅宗」再考 - 特に鈴木正三にみる「日本資 本主義の精神」論をめぐって	人間文化	22	9
小 倉 玄 照	禅戒一如のなかに顕現する靈 性 (特集 スピリチュアリ ティの羅針盤)	春秋	492	10
小田川 方子	『大乘起信論』における「心」 の比較思想的省察 - 哲学と宗 教の間	比較思想研究	34	3

金子 宗元	道元禪師の無我説解釈—その独自性を中心にして	宗学研究	49	4
川畑 松晴	英文著作から大拙に迫る(1) イギリスにおける大拙	金沢学院大学紀要, 文学・美術・社会学編	5	3
佐久間 賢祐	論理・合理, 禪理—道元禪師の理の用例と宗旨に関連して	印度哲学仏教学	22	10
下室 覚道	道元禪師の業報観(6) 相続転変差別について	宗学研究	49	4
新保 哲	仏教から見たソローと山頭火: 色から音そして声へ	文化女子大学紀要, 人文・社会科学的研究	15	1
新保 哲	山頭火の生死観	宗教研究	80(4)	3
新保 哲	道元の菩薩道と福祉の精神	人と言語と文化	4	6
菅原 研州	歴史と宗義の一考察(6)	宗学研究紀要	20	3
仙石 景章	道元の「捨てる」思想について	印度哲学仏教学	22	10
竹内 弘道	「いのち」の用語をめぐる—道元禪師の生命観との関連において—	教化研修	51	4
竹林 史博	正信論争考(4) キリスト教近代主義神学との比較	宗学研究	49	4
辻村 公一	禪に於ける「魔境」—先師抱石菴久松眞一博士を回想して(独語)(日本語)	日本學士院紀要	62(2)	11
内藤 可夫	鈴木正三における死の思惟の誠実性	人間環境論集	6	3
三浦 雅彦	『万民徳用』と戦後思想—中村元の鈴木正三研究をめぐる	比較思想研究	34	3
水田 珠枝	平塚らいてうの神秘主義(上) 成瀬仁蔵・ドイツ観念論・禪との関連で	思想	996	4
水田 珠枝	平塚らいてうの神秘主義(下) 成瀬仁蔵・ドイツ観念論・禪との関連で	思想	997	5
峰岸 正則	『永平清規』等と『聖ベネディクト会則の比較—東西靈性交流に関連して—	教化研修	51	4
森 哲郎	禪と西田哲学—脱自と表現	禪學研究	85	2
矢島 忠夫	『正法眼蔵』における時間	弘前大学教育学部紀要	97	3
吉村 均	ナーガールジュナ(龍樹)と道元—二諦論からの『正法眼蔵』読解の試み	比較思想研究	34	3
和田 真二	鈴木大拙の“靈性”三部作の意義とその問題点	宗教研究	80(4)	3

〔中国〕

McRae John R.	日本の禅研究と私 - 小川隆 『神会』『語録のことば』の刊 行にちなんで	東方	320	10
伊藤 孝 祥	洞山良价禅師の研究 (平成 18 年度文学研究科修士論文要旨)	愛知学院大学文学 部紀要	37	3
伊吹 敦	宋の成立と禅 (下) 要説・中 国禅思想史 (15)	禅文化	206	11
伊吹 敦	宋の成立と禅 (上) 要説・中 国禅思想史 (14)	禅文化	205	7
伊吹 敦	唐から宋へ (下) 要説・中国 禅思想史 (13)	禅文化	204	4
伊吹 敦	唐から宋へ (上) 要説・中国 禅思想史 (12)	禅文化	203	1
伊吹 敦	『二入四行論』の作者につい て - 「曇林序」を中心に	東洋学論叢	32	3
伊吹 敦	「東山法門」と「楞伽宗」の 成立	東洋学研究	44	3
内田 誠 一	王維の乗如禅師に寄せた詩と その周邊 (中) 乗如禅師の人 物像を中心に	中国詩文論叢	26	12
小川 隆	禅の書物 禅の言葉『碧巖録』 雑考 (22) 天平和尚両錯 (10)	禅文化	206	11
小川 隆	禅の書物 禅の言葉『碧巖録』 雑考 (21) 天平和尚両錯 (9)	禅文化	205	7
小川 隆	禅の書物 禅の言葉『碧巖録』 雑考 (20) 天平和尚両錯 (8)	禅文化	204	4
小川 隆	禅の書物 禅の言葉『碧巖録』 雑考 (19) 天平和尚両錯 (7)	禅文化	203	1
外国語禅籍研究班	金沢文庫本『正法眼蔵』の訳 注研究 (6)	駒沢大学禅研究所 年報	18	3
金子 眞 也	黄汝亨『天目遊記』につて	龍谷紀要	29(1)	9
韓 志 晚	住持葬式からみた宋・元代の 禅宗伽藍 (東洋建築史・中国(1)・ モンゴル, 建築歴史・意匠)	学術講演梗概集, F-2, 建築歴史・ 意匠 2007	2007	7
木村 得 玄	続隠元禅師来日の理由	黄蘗文華	126	7
古賀 英 彦	空思想の中国的変容 - 肇論と 中国仏教 (2)	禅學研究	85	2
古賀 英 彦	起信論研究ノート	禅文化	204	4
古賀 英 彦	肇論と中国仏教 (3)	花園大学文学部研 究紀要	39	3
小早川 浩 大	近世曹洞宗と覚範慧洪 - 『護 法集』の記述を中心に	宗学研究	49	4
古林 義 功	義功和尚の無門関 (4)	禅と念仏	24	10

小 森 英 明	仏典の中の‘笑い’ (1): 『無門関』を中心に	印度學佛教學研究	55(2)	3
佐 藤 秀 孝	明州瑞巖寺の石窓法恭について-南宋初期に活躍した宏智門下の破家子-	駒澤大学佛教學部研究紀要	65	3
佐 藤 秀 孝	『浙江摘菓』の翻刻	駒澤大学禅研究所年報	18	3
佐 藤 秀 孝	西澗子曇の渡来とその功績-蒙古襲来を挟んで二度の来日を果たした中国禅僧の数奇な生涯	駒澤大学仏教学部論集	38	10
佐 野 公 治	『景德傳燈録』を読む	中国古典研究	52	12
椎 名 宏 雄	『玄沙広録』と『玄沙語録』	宗学研究	49	4
椎 名 宏 雄	『万善同帰集』の文献史的考察	印度學佛教學研究	55(2)	3
篠 原 豊 和	南陽慧忠の語録について (1)	宗学研究	49	4
鈴 木 哲 雄	元代の禅僧の動態 資料	愛知学院大学文学部紀要	37	3
千 田 たくま	ふたりの浄覚	花園大学国際禅学研究所論叢	2	3
千 田 たくま	『楞伽師資記』の撰述年代	印度學佛教學研究	56(1)	12
千 田 たくま	戒概念の変化から考察した初期禅宗の頓悟思想-心地無相戒成立前夜	禪學研究	85	2
高 井 恭 子	初期日本黄檗における儀礼と儀規-禅淨双修-	東海仏教	52	3
高 井 恭 子	黄檗版『大明三蔵聖教目録』の成立と刊行-日本黄檗と宗旨の関係から-	黄檗文華	126	7
瀧 瀬 尚 純	「摂心内澄」考	印度學佛教學研究	56(1)	12
田 中 智 誠	中日両黄檗の風水的トポロジ-について	黄檗文華	126	7
千 葉 正	頼宝による『宗鏡録』の受容-頼宝撰『釈摩訶衍論勘注』考	宗学研究	49	4
陳 継 東	明末の『諸経日誦集要』とその周辺	印度學佛教學研究	55(2)	3
土 屋 太 祐	公案禅の成立に関する試論-北宋臨濟宗の思想史-	駒澤大学禅研究所年報	18	3
程 正	傳達摩撰『般若波羅蜜多心經頌』の譯注研究	駒澤大学仏教学部論集	38	10
程 正	智詵撰『般若波羅蜜多心經疏』の譯注研究 (2)	駒澤大学仏教学部研究紀要	65	3
常 磐 義 伸	涅槃経が楞伽経の主な表現主体ではなかったか	臨濟宗妙心寺派教学研究紀要	5	5

長 倉 信 祐	湛然の『金剛鉏』撰述の背景をめぐる一試論-李華の『鶚執狐記』を視点として (国際天台学会論集)	天台学報	49	10
長 倉 信 祐	唐代の台禪交渉史に関する一試論: 湛然述『金剛鉏』の題号をめぐって	印度學佛教學研究	56(1)	12
中 島 志 郎	神會と宗密-思想史的方法の試み	禪學研究	85	2
中 鉢 雅 量	唐宋口語釈義拾遺 (3) -唐代禪語録を中心として-	名古屋外国語大学 外国語学部紀要	32	2
任 圓 映	無生戒の受戒儀について	禪學研究	85	2
野 口 善 敬	玉林通琇の禪と「主人公」論争-名僧の条件	東洋古典學研究	24	10
野 口 善 敬	雲棲株宏の評価をめぐって	花園大学国際禅学 研究所論叢	2	3
長谷部 幽 蹊	明清仏教の源と流を探る -黄檗禪との関連において-	黄檗文華	126	7
野 田 大 燈	随流法 (特集私を磨いてくれたこの禪語)	禪と念仏	24	10
林 徳 立	『百丈古清規』は如何なる形式で成立したか	正眼短期大学研究 紀要	4	3
藤 原 東 演	趙州の無 (特集 私を磨いてくれたこの禪語)	禪と念仏	24	10
前 川 亨	「看話のゆくえ-大慧から顔丙へ」	専修大学人文科学 年報	37	
山 田 無 文	碧巖録提唱 (10) 第二十四則 鉄磨到瀉山	禅文化	206	11
山 本 輝 雄	準世代・即非禅師作『新黄檗志略序』を拝読して、日本人僧・鉄文道智禅師の「禪の場所への志向」との関連について考える	黄檗文華	126	7
山 本 元 隆	『律苑事規』に見られる禅宗清規の受容	宗学研究	49	4
吉 水 岳 彦	『観経』「是心作佛是心是佛」釈をめぐって-『往生論註』を中心に	仏教文化学会紀要	15	2
劉 作 勝	黄檗禅林書の研究: 一隠元を中心に	九州産業大学芸術 学部研究報告	38	
林 観 潮	隠元隆琦の天童法難について	花園大学国際禅学 研究所論叢	2	3
林 観 潮	潮音を聞く-黄檗ゆかりの地 その二 浙江普陀山-	黄檗文華	126	7
林 徳 立	『百丈古清規』は如何なる形式で成立したか	正眼短期大学研究 紀要	4	3

## 〔韓 国〕

韓 普光(泰植)	朝鮮・智言禪師の念佛禪について	印度學佛教學研究	56(1)	12
近 藤 利 弘 任 京美〔訳〕	大本山南禪寺藏(高麗版)一切経〔エ ユレ〕	花園大学国際禅学研究所論叢	2	3
徐 銀 柱	『宗門圓相集』の円相の分類	宗学研究	49	4

## 〔日 本〕

App Urs	柳田聖山先生の遺言(特集 追悼 柳田聖山先生)	禪文化	203	1
GARRI Igor	道元著『傘松道詠』による和歌の仏教義をめぐって:若干の短歌に関する考察とその英訳	印度學佛教學研究	56	12
Patricia Fister	Merofu Kannon and Her Veneration in Zen and Imperial Circles in Seventeenth-Chtury Japan	Japanese Journal of Religious Studies	34(2)	秋
Svetlana Mikhailova	日本の高僧伝と中国の高僧伝の比較-道元禪師についての「三大尊行状記」を巡って	宗学研究	49	4
浅 井 健 一	黄檗山万福寺松隠堂の変遷と建造物の歴史-松隠堂修理の現場から(二)-	黄檗文華	126	7
朝 倉 和	瀬戸内海と五山文学	広島商船高等専門学校紀要	29	3
朝 倉 和	義堂周信『空華日用工夫略集』の主題に関する覚書	古代中世国文学	23	3
安 藤 嘉 則	南源恭薫の臨濟録抄と天徳寺資料について	駒沢女子大学研究紀要	14	12
飯 塚 大 展	禅籍抄物研究(5) 叡山文庫所蔵史料について(下)	駒沢大学仏教学部論集	38	10
飯 塚 大 展	『江湖風月集抄』研究ノート(1) - 龍門文庫・足利学校遺跡図書館所蔵本を中心に -	駒沢大学禅研究所年報	18	3
飯 塚 大 展	『江湖風月集抄』について - 龍門文庫所蔵本中心として	宗学研究	49	4
池 上 光 洋	道元禪師の引用禅籍の基礎的研究 - 大谷大学蔵本『圓悟禪師語録』を用いた出典の再調査	宗学研究	49	4
池 上 光 洋	「弁道」考(3) 宗門の口伝成立に関する一考察	宗学研究紀要	20	3
石 島 尚 雄	「諸法実相」に関する一考察 - 特に道元禪師師資と天台教学をめぐって	宗学研究	49	4

石 島 尚 雄	道元禅師と日常性についての一考察-特に「家常」の巻を手がかりとして-	宗学研究紀要	20	3
石 井 清 純	道元禅師における般若と風鈴(仏教と智慧)	日本仏教学会年報	73	5
石 渡 吉 彦	撰津富田の廃寺・水月長福禅寺について	黄檗文華	126	7
泉 田 宗 健	沢庵禅師の茶の湯の素地一考	禅文化	203	1
磯 田 照 文	『大悲心陀羅尼』について	臨済宗妙心寺派教学研究紀要	5	5
市 川 忠 夫	良寛の人間像とその調和の世界-儒学と道元禅を原点として-	学校法人昌賢学園論集	6	3
伊 藤 秀 憲	道元禅師と智慧(仏教と智慧)	日本仏教学会年報	73	5
伊 藤 良 久	檀越たちをつないだ曇英慧応	宗教研究	80(4)	3
伊 藤 良 久	雙林寺三世・林泉寺開山 曇英慧応禅師の行状(4) 檀越长尾氏・上杉氏との交渉	宗学研究	49	4
伊 藤 良 久	雙林寺三世・林泉寺開山 曇英慧応禅師の行状(5) 諸寺の歴住と開創	宗学研究紀要	20	3
岩 永 正 晴	『大智禅師逸偈行録』について-面山瑞方和尚の著述をてがかりとして	宗学研究	49	4
内 山 純 子	了翁禅師と東叡山勸学講院-近世仏教史の推移から見た了翁創建の勸学講院-	山家学会紀要	9	7
海 村 惟 一	日中文化交流史的基礎研究《扶桑五山文學原典箋註系列》第一種-絶海中津《蕉堅叢》箋註(8)	福岡国際大学紀要	18	7
江 口 正 尊	黄檗信仰史(71)	史迹と美術	77(2)	2
江戸黄檗研究会	『江戸黄檗禅刹記』校刊と解題(三)	黄檗文華	126	7
海老澤 早 苗	『訓点禅林類聚』「尼女」の項にみる卍元師蛮の女性観	宗学研究	49	4
海老澤 早 苗	中世における高僧とその母-禅宗の事例を中心として	日本仏教総合研究	5	5
王 芳	鳳潭の『鉄壁雲片』にみられる禅理解について:曹洞偏正五位と六即を中心に	印度學佛教學研究	55(2)	3
太 田 亨	日本中世禅林における柳宗元受容-初期の場合	中国古典文学研究	5	12
太 田 亨	日本中世禅林における杜詩受容:中期における杜甫の情に対する関心	広島商船高等専門学校紀要	29	3

大谷哲夫	概要「十六羅漢」とその様相について	苫小牧駒澤大学紀要	18	10
大塚紀弘	栄西と俊苧-禅律仏教の祖師として-	寺社と民衆	3	3
大槻幹朗	『黄檗和尚扶桑語録』二十卷本	黄檗文華	126	7
大園隆二郎	湛然梁重和尚の生涯について(上)	葉隠研究	61	3
尾崎正善	翻刻・龍谷大学蔵『南禅諸回向』	鶴見大学佛教文化研究所紀要	12	4
落合俊典	平安時代の禅籍:真福寺蔵延久五年写『厭世論』	印度學佛教學研究	55(2)	3
小野澤隆	『夜船閑話』(白隠禅師著,宝暦七年京都松月堂版)の解題及び-序-の英訳	浜松大学研究論集	20(2)	12
會谷佳光	江戸時代の和刻本仏典の出版と黄檗版大蔵経:成田山仏教図書館蔵『阿毘達磨俱舍論』を手がかりに	日本漢文学研究	2	3
加藤みち子	鈴木正三:機の修行論	人文	6	
加藤みち子	鈴木正三の二王禅をみる新視点-機の修行論	禪學研究	85	2
角田泰隆	『正法眼蔵』「現成公案」卷冒頭の一節の解釈	印度學佛教學研究	56(1)	12
角田泰隆	『正法眼蔵』の成立について-四種古写本の考察	駒沢短期大学研究紀要	35	3
門脇むつみ	狩野安信筆『鐵牛道機像』(仙台市大年寺蔵)-像主についての疑問,安信と黄檗宗のかかわり	城西国際大学日本研究センター紀要	2	
金子奈央	葬送における遺品処理:禅宗清規における唱衣法について	宗教研究	80(4)	3
神谷隆	『山水経』の解釈-その2-	宗学研究	49	4
川合圭介	真宗と禅	宗学院紀要	9	
河内将芳	大永八年の稻荷・東福寺喧嘩について-『種通公記』を中心に-	朱	50	3
川勝賢亮	道元禅師と円頓戒(平成十九年度 天台宗教學大會記念號)	天台学報	50	
川口高風	明治期以降曹洞宗人物誌(一)	愛知学院大学教養部紀要	54	4
河村康仁	『永平初祖学道用心集』に観る菩提心の考察(1)「可発菩提心事」を中心にして	曹洞宗研究員研究紀要	37	3
河村康仁	『正法眼蔵』に観る菩提心の考察(2)『正法眼蔵第四身心学道』巻を中心にして	宗学研究	49	4

川本慎自	中世後期関東における儒学学習と禅宗	禪學研究	85	2
神戸信寅	『正法眼蔵』「身心学道」の一考察	禅研究所紀要	35	3
衣川賢次	往事追憶(特集 追悼 柳田聖山先生)	禅文化	203	1
清藤久嗣	『正法眼蔵坐禅箴』の考察(1)	曹洞宗研究員研究紀要	37	3
清藤久嗣	道元禅師の坐禅観(2)『龍門仏眼遠禅師坐禅銘』について	宗学研究	49	4
清藤久嗣	道元禅師の坐禅観(3)『上封仏心才禅師坐禅儀』について	駒沢大学仏教学部論集	38	10
近世洞門研究班	『日本洞上聯燈録』の研究(4)-巻第七所収諸伝訓注(その三)-	駒沢大学禅研究所年報	18	3
熊谷忠興	建綱と建擲の関係-寂円派の法系に就いて	宗学研究	49	4
熊本英人	近代曹洞宗と宗教教育	印度學佛教學研究	56(1)	12
熊本英人	近代曹洞宗における仏教婦人	宗教研究	80(4)	3
小早川浩大	「対大己五夏闍梨法」の基礎的研究-『教誡律儀』の諸本との関連から	宗学研究紀要	20	3
駒ヶ嶺法子	『洞門龜鑑』と『西来家訓』	宗学研究	49	4
近藤章正	曹洞宗真巖派の研究	曹洞宗研究員研究紀要	37	3
榊原直樹	普照國師廣録卷第十(第八~九丁)嗣法門人如一編	黄檗文華	126	7
坂口太郎	花園天皇関係史料・研究文献目録稿	花園大学国際禅学研究所論叢	2	3
芳澤元	生死の巻きは何を語っているのか-冒頭の二偈の対句的表現を読み解く-	宗学研究	49	4
佐々木隆	世阿弥能楽論『風曲集』に見える一禅語の解釈とその思想的背景-一に多種有り, 二に両般無し	立命館文學	601	8
重田みち	笠山清規にみる首楞嚴經の觀世音菩薩の耳根円通再考-伝光録, 鷹峰円山和尚広録, 学道用心集開解の事例を中心として	宗学研究	49	4
下條正	道元の経歴について	日本精神文化	17	7
新保哲	『眼蔵』をよむ(第1部)「佛性」巻(第54回)坐禅の「ありさま」が仏性である	本	32(11)	11
菅野覚明	『眼蔵』をよむ(第1部)「佛性」巻(第52回)虚空と満月	本	32(9)	9

菅野 覚明	『眼藏』をよむ(第1部)「佛性」巻(第50回)表現が仏である	本	32(7)	7
菅野 覚明	『眼藏』をよむ(第1部)「佛性」巻(第48回)説法は「その形」を持たない	本	32(5)	5
菅野 覚明	『眼藏』をよむ(第1部)「佛性」巻(第46回)言葉でない説法	本	32(3)	3
菅野 覚明	『眼藏』をよむ 第一部-「佛性」巻(第44回)無常を一網打尽せよ	本	32(1)	1
菅原 昭英	道元禪師の夢語り:「永平広録」より	駒沢女子大学研究紀要	14	12
杉尾 玄有	深謀遠慮の『根本眼藏』と良寛の拈法眼-正伝の仏法と居簡書風の採用	宗学研究	49	4
鈴木 重喜	佐藤家遠忌納下牒	正眼短期大学研究紀要	4	3
鈴木 省訓	訓注『古月禪師四會録』(12)	鎌倉	104	12
鈴木 智大	南北朝期の五山叢林における僧堂生活の実態	日本建築学会計画系論文集	611	1
諏訪 安弘	『正法眼藏』「行持」巻の解析-道元の仮名法語の特色	東洋大学大学院紀要	44	3
瀬戸谷 皓	豊岡京極氏と大雲山興国禪寺	黄檗文華	126	7
高井 恭子	初期日本黄檗における儀礼と儀規-禪淨双修	東海仏教	52	3
高井 恭子	黄檗版『大明三藏聖経目録』の成立と刊行-日本黄檗と宗旨の関係から	黄檗文華	126	7
高橋 佳代子	日本禅宗寺院における土地神について-各宗を比較して	宗学研究	49	4
滝澤 安隆	『中華若木詩抄』の配列意識-教育者としての視点から	東洋大学大学院紀要	44	3
田島 毓堂	正法眼藏のサ変動詞:その用例(十八)(漢字五字・六字)	禅研究所紀要	35	3
館 隆志	京都万寿寺・三聖寺と玄海大師-鎌倉期に活躍した禅宗尼僧の活動	駒沢大学大学院仏教学研究會年報	40	5
館 隆志	三井寺の公胤について(下)-法然・栄西・道元・公暁と関わった天台僧-	駒沢大学禅研究所年報	18	3
館 隆志	寒巖義尹と博多聖福寺-蘭溪道隆門下との交流を踏まえて	曹洞宗研究員研究紀要	37	3
館 隆志	曹洞宗最古の尼寺報恩寺と寒巖義尹-兀庵普寧と蘭溪道隆に参じた成道大師について	駒沢史学	68	3

田中康二	雪岡禅師と江戸派	鈴屋学会報	24	12
千葉正	頼宝撰『身心本元鈔』における心業解釈	印度學佛教學研究	55(2)	3
中世禅籍研究班 禅籍抄物研究会	『靈竺淨慈自得禅師録抄』の研究(3)	駒沢大学禅研究所 年報	18	3
中世古 祥 道	道元禅師の外舅良顕法眼について - 里僧綱(俗人)か	宗学研究	49	4
中本大	聯句の寄合から見えるもの - 本邦禅林の漢故事享受の側面(和漢聯句の世界) - (日本の聯句連歌)	アジア遊学	95	1
西岡秀爾	道元の輪廻観 - 『正法眼蔵』「道心」巻を中心に	禪學研究	85	2
西岡秀爾	摂津中嶋三宝寺とその周辺	印度學佛教學研究	55(2)	3
西尾賢隆	研究余録 山内一豊夫人と南化玄興	日本歴史	712	9
西尾賢隆	蘭溪道隆の四六文	文芸論叢	68	3
西尾賢隆	建長寺の鐘銘	禪學研究	85	2
錦織亮介	黄檗即非禅師の仏画論 - 逸然筆列祖図の批判	黄檗文華	126	7
西山美香	鹿王院蔵『仏舎利伝記』翻刻と紹介	花園大学国際禅学 研究所論叢	2	3
新田章	大愚良寛と『妙法蓮華経』	法華文化研究	33	3
根木優	『佛乘禅師東帰集』の基礎的研究: 伝自筆本と版本の比較を手がかりに	日本漢文学研究	2	3
原田香織	謡曲と禅的世界 - 『放下僧』における禅問答	東洋学研究	44	3
原田正敏	中世仏教再編期としての一四世紀(特集 14世紀史の可能性)	日本史研究	540	8
平子泰弘	『喪記集』に見る臨終の様子と記載方法	宗学研究	49	4
平子泰弘	現代寺院における葬儀の推移とその性格	宗学研究紀要	20	3
平子泰弘	宗教者の老後問題: 仏教界の現状と動向	宗教研究	80(4)	3
広瀬良文	近世前期禅僧と秘書授受 - 三州八名郡中宇利村慈廣寺高山伝虎の事例を中心に	駒沢史学	68	3
府川直人 和嶋浩一 福島駿介	円覚寺の復元に関する研究: その7 日本本土の禅宗寺院と円覚寺龍淵殿の寸法比較(日本: 技術・大工, 建築歴史・意匠)	学術講演梗概集, F-2, 建築歴史・ 意匠	2007	8
福島洋子	日中禅僧の交流 - 中国僧楚石梵琦と日本僧	鎌倉	104	12

藤井義博	道元禪師の学道の構造：A.H.マズローの成長的視点による正法眼蔵随聞記の分析の試み	藤女子大学QOL研究所紀要	2(1)	3
藤井義博	道元の受食法と作食法：栄養療法の知的枠組についての研究4	藤女子大学紀要. 第II部	44	3
藤田琢司	『元亨釈書』訳注(8) 延暦寺最澄伝(4)	禪文化	203	1
藤田琢司	日本達磨伝説-達磨の墓	禪文化	204	4
藤田琢司	日本達磨伝説-出羽の達磨伝説	禪文化	205	7
藤田琢司	日本達磨伝説-奥州松島の達磨伝説	禪文化	206	11
藤巻尚子	中世禅林における中国文化の受容-『碧山日録』内「匡廬十八賢図」鑑賞記事を中心に	国文学研究	151	3
藤元裕二	初期黄檗文化の一側面-逸然性融筆「仏涅槃図」の位相	黄檗文華	126	7
藤元裕二	臨済宗周辺の絵仏師に関する伝承の再検討-託磨栄賀と『本朝画史』-	臨済宗妙心寺派教学研究紀要	5	5
古山健一	「正法眼蔵四禅比丘」に引かれる外道論力の話について	宗学研究紀要	20	3
堀川貴司	新選分類集諸家詩(抄出本) 解題と翻刻	花園大学国際禅学研究論叢	2	3
本田寛尚	曹洞宗寺院に伝わる黄檗系の宝物事情	黄檗文華	126	7
松下みどり	中世後期禅宗における女人成仏思想	日本仏教総合研究	5	5
松田陽志	月舟宗胡の五位説について-「參同契」「宝鏡三昧」註釈の変容をめぐって	宗学研究	49	4
松田陽志	天桂伝尊撰『報恩篇』の研究(二)-卷中「宝鏡三昧金鑑」について	駒沢大学仏教学部論集	38	10
松波直弘	〈道元門下〉の立脚地：『正法眼蔵開書抄』における「宗門」の構造	哲学会誌	31	5
丸山劫外	竹居正猷禪師の行状-生卒年の再考	宗学研究紀要	20	3
丸山劫外	器之為璠禪師語録の研究(3) 永平寺拜登は何年か	宗学研究	49	4
三浦浩樹	建長寺近世史料(12)	鎌倉	104	12
三浦雅彦	鈴木正三門派と石平山恩真寺	日本宗教文化史研究	11(2)	11
南浦邦仁	若冲逸話	黄檗文華	126	7

宮地清彦	『伝光録』の「心」と大乘経典の「心」「識」について-『大乘起信論』水波の喩えを端緒として	宗学研究	49	4
宮地清彦	登山禅師と日本中世社会の関連について(登山禅師の人間観~『伝光録』の思想的背景~)	鶴見大学佛教文化研究所紀要	12	4
宮地清彦	『伝光録』における「夢」と「死」の関連について	宗教研究	80(4)	3
三好昭一郎	徳島藩初期藩政改革の動向と大安寺住持の役割(その二)	黄檗文華	126	7
村瀬正光	黄檗山の一流相承刹化について	正眼短期大学研究紀要	4	3
村本詔司	夢窓疎石(1275-1351)生きながらにして此の世で己を葬る術	禪學研究	85	2
矢島道彦	仏教における業・因果論の変遷(登山禅師の人間観~『伝光録』の思想的背景~)	鶴見大学佛教文化研究所紀要	12	4
安永祖堂	不干斎巴鼻庵『妙貞問答』に於ける「庭前栢樹子」	禪學研究	85	2
矢野立子	中世禅僧と勅号:禅師号と国師号をめぐって	史艸	48	11
山口保樹	資料紹介「栗棘山円珠寺開山桂巖大和尚事蹟」の紹介	葉隠研究	61	3
山下龍二	いま漢文に学ぶ(76) 大愚良寛	月刊カレント	44(12)	12
山田徹	天竜寺領の形成	ヒストリア	207	11
山田宗敏	悠々飄々~暮雲軒近藤文光絶海老大和尚	禅文化	205	7
山本輝雄	(江戸止住)至道無難禅師の「場所の捉え方」について(建築歴史・意匠)	研究報告集II, 建築計画・都市計画・農村計画・建築経済・建築歴史・意匠	77	2
横山住雄	快川国師の生涯(14) 惠林寺の兜卒橋完成	禅文化	203	1
横山住雄	快川国師の生涯(15・最終回)	禅文化	204	4
横山住雄	寛永版「心宗禅師録」について-特に版本「虎穴録」に見えない法語・偈頌の紹介	花園大学国際禅学研究所論叢	2	3
芳澤勝弘	白隠の蟹弘子図-狂言『蟹山伏』のこと	禅文化	203	1
芳澤勝弘	白隠の巡礼落書図-白隠禅画の創意	禅文化	204	4
芳澤勝弘	阿弥陀窟参拝記-南伊豆手石・白隠の『宝鏡窟之記』の霊場	禅文化	205	7

芳澤勝弘	白隠の漢文語録『荊叢毒蘂』刊行の経緯梁田蛻巖・池大雅との関わりについて	花園大学国際禅学研究所論叢	2	3
芳澤元	室町期禅林における飲酒とその背景	竜谷史壇	127	9
吉田公平	盤珪禅師の不生禅が投げかけた問い	臨済宗妙心寺派教学研究紀要	5	5
吉田道興	道元禅師伝の靈瑞逸話考-羅漢信仰の進展と「十六羅漢図」の流布	東海仏教	52	3
吉田道興	道元禅師伝の靈瑞逸話考(続)「高祖彈虎図」の成立と展開	宗学研究	49	4
吉田道興	『伝光録』の業・因果論(笠山禅師の人間観〜『伝光録』の思想的背景〜)	鶴見大学佛教文化研究所紀要	12	4
吉田道興	道元禅師伝記史料集成(四)	愛知学院大学教養部紀要	54	4
頼住光子	道元の仏性論-「法性」思想の展開の観点から	日本仏教総合研究	5	5
李秀真	蘭溪道隆と円爾の『坐禅論』について	駒沢史学	68	3
林徳立	近世叢林規範の研究(平成18年度文学研究科修士論文要旨)	愛知学院大学文学部紀要	37	3

## 〔その他〕

Hajima Agnese	雪舟筆「四季山水図巻」に見られる宗教的世界-「煙寺晚鐘」の場面を中心に	デザイン理論	51	
Pawle Reggie・村川治彦〔訳〕	トランスパーソナル心理学と禅・仏教(特集 禅と現代心理学の新潮流(2))	トランスパーソナル心理学/精神医学	7(1)	5
青山俊董	生きる目的(「語録を見て、なにの用ぞ…」など)(特集=道元の言葉『正法眼蔵随聞記』)-(人生の大事)	大法輪	74(10)	10
朝倉一善	心と身体に効く寺社(25)円通寺の坐禅と二胡の会	大法輪	74(11)	11
朝倉一善	心と身体に効く寺社(その18)青苔禅寺(山梨県上野原市)の電子水	大法輪	74(3)	3
安藤治	社会とつながるZENへの期待(特集 禅と現代心理学の新潮流(2))	トランスパーソナル心理学/精神医学	7(1)	5
安藤嘉則	無常を思う(「世間の無常を思ふべき…」など)(特集=道元の言葉『正法眼蔵随聞記』)-(人生の大事)	大法輪	74(10)	10

安藤嘉則	曹洞宗で読まれるお経—修証義 (特集 よく聞く《お経》入門)	大法輪	74(7)	7
伊賀奎子 河野太通	あなぐま寺庭記(最終回)河野 太通老師の大衆禅道場の開単	禅文化	203	1
石井修道	久嚮聖山(特集 追悼 柳田 聖山先生)	禅文化	203	1
石井修道	講演会「正法眼蔵行持」と時 間について	禅研究所紀要	36	
石寒太	俳句と仏教的生き方—禅僧・ 松野自得の一生	大法輪	74	10
石寒太	俳句と仏教的生き方—禅僧の俳 句・中川宋淵の秀句を味わう	大法輪	74	4
石平	東方人記—中国人が見た日中 傑物譚(第5回)中国禅と武 士道 北条時宗と无学祖元	正論	427	10
泉田宗健	犀の角のごとく一人歩め—澤 庵 紫衣を遺して—	淡交	61	10
泉田宗健	犀の角のごとく一人歩め—澤庵 大徳寺成立—大燈国師の禅(2)	淡交	61	9
泉田宗健	犀の角のごとく一人歩め—澤庵 雲門之関—大燈国師の禅(1)	淡交	61	8
板倉功	「良寛」の下越での足どり・新 潟県北蒲原郡濁川村(現新潟 市),新潟県豊栄市横井(新潟県)	良寛だより	116	4
井上米輝子	まつがおか日記—秋	禅文化	206	11
井本淳作	私の四季(日本文化と禅)	禅	25	
上田閑照	白雲悠悠 追悼(特集 追悼 柳田聖山先生)	禅文化	203	1
大村哲夫	禅僧修行の構造と意味	宗教研究	80(4)	3
冲本克己	弟子一人ももたずさふらふ (特集 追悼 柳田聖山先生)	禅文化	203	1
小倉玄照	暮らしの「正法眼蔵」(1)~(7)	大乘禅	981~2	1,2,3
恩田彰正 堀江宗正 春木豊[他]	討論(特集 禅と現代心理学 の新潮流(2))	トランスパーソナル 心理学/精神医学	7(1)	5
形山睡峰	霞ヶ浦和尚の風言葉(16)~ (24)	大法輪	74(1)~(12)	1~12
形山睡峰	白隠の死の考え(特集 死に についての教え)—(仏教の死 生感)	大法輪	74(6)	6
角田泰隆	道元が説く生死(特集 死に についての教え)—(仏教の死 生感)	大法輪	74(6)	6
加藤僖一	良寛遺墨解説(73)~(76)	良寛だより	115~118,10,11,12	1,4,7, 12

金澤弘	頂相-禪宗の絵画(その1)	禪文化	204	4
金澤弘	釈人物画-禪宗の絵画(その2)	禪文化	205	7
金澤弘	白衣観音と花卉・花鳥画-禪宗の絵画(その3)	禪文化	206	11
樺島勝徳	巢立ち支援(特集 追悼 柳田聖山先生)	禪文化	203	1
樺島勝徳	和尚さんの身体講座(15) 自縄自縛で歩けない-腰の脊椎機能を上げる	禪文化	204	4
樺島勝徳	和尚さんの身体講座(16) 自信不足は筋力不足?	禪文化	205	7
樺島勝徳	和尚さんの身体講座(17) 人類の踊り	禪文化	206	11
川口高風	絡子(掛絡)と守持衣について	宗学研究	49	4
川口霽亭	良寛和尚遺愛の茶碗について	良寛だより	118	10
菊池亮道	仏道を学ぶ心構え(「学道の人には、先づすべからく貧なるべし…」など)(特集=道元の言葉【正法眼蔵随聞記】- (仏教者の在り方)	大法輪	74(10)	10
北西弘	柳田聖山先生を想う(特集 追悼 柳田聖山先生)	禪文化	203	1
北西弘	回想-鈴木大拙先生(その4)~(その6)	禪文化	204~206	4,7,11
教学研究委員会	「却温神呪」を読誦する効果-『仏説却温黄神呪経』訳注-	臨済宗妙心寺派教学研究紀要	5	5
教学研究委員会	禪と浄土の接点-『抜一切業障根本得生浄土神呪』訳注-教化活動にいかすカウンセリング	臨済宗妙心寺派教学研究紀要	5	5
畦昌彦	善財童子の求道ものがたり(番外) 菩薩道五十三次	禪文化	204	4
小林圓照	善財童子の求道ものがたり(7) ドラヴィダ人のメーガ法師-菩薩道五十三次 保土ヶ谷の宿駅	禪文化	204	4
小林圓照	善財童子の求道ものがたり(8) 真珠商主のムクタカ長者	禪文化	205	7
小林圓照	羅漢さまの寺-小田原市・玉宝禅寺	禪文化	206	11
駒沢琛道	生れしことに黙す-齋藤史の介護の歌	大法輪	74(8)	8
佐伯裕子	をみなへしをとこへし唯うらぶれて-山川登美子の花のうた	禪文化	203	1
佐伯裕子	われにふるるな-築地正子の鳥の歌	禪文化	204	4
佐伯裕子		禪文化	205	7

佐伯裕子	わが夫が臭ひてはならぬに - 森岡貞香の月光の歌	禅文化	206	11
酒井憲一	私の良寛アメニティー(1)~(2)	良寛だより	117~118	7,10
酒井大岳	清貧の教え(「学道の人、衣食を貪ることなかれ…」など) (特集=道元の言葉『正法眼蔵随聞記』)-(人生の大事)	大法輪	74(10)	10
笹尾哲雄	秋田実季と量外正寿	禅文化	205	7
佐藤俊晃	修証義成立以前における明治曹洞宗教団の浄土的布教方針について-吉岡信行編『葬祭法用文』の意義-	教化研修	51	4
佐藤秀孝	徹通義介と天童如浄頂相	宗学研究	49	4
島尾新	山水圖	国華	112(6)	1
島尾新	雪村筆 壽老圖	国華	112(11)	6
清水早苗	剣道と禅の出会い(日本文化と禅)	禅	23	
秋央文	授戒会における教化学的考察(2)『仏祖正伝菩薩戒作法』を通しての考察	宗学研究紀要	20	3
城光寺文章	近世における禅宗様三手先組物の形態について	日本建築学会東北支部研究報告集	621	11
城光寺文章 櫻井敏雄	厨子にみられる禅宗様三手先組物の形態とその変遷について: 中世から近世初頭の遺構を中心として	日本建築学会計画系論文集	616	6
白田劫石	提唱-槐安国語鈔講話(5) 頌古 第二則 迦葉茶毘	禅	25	
白田劫石	提唱-槐安国語鈔講話(4) 頌古 第一則 浄居叉手	禅	24	
白田劫石	提唱-槐安国語鈔講話 緒言(3)	禅	23	
菅原研州	坐禅のシステム論的考察(2) 身現円月相について	宗学研究	49	4
須沢かおり Neudecker Reinhard	「死と生をもたらす方」-ラビ・ユダヤ教、スフィーズム、禅仏教における対極にあるもの	ノートルダム清心女子大学紀要、文化学編	31(1)	
鈴木智大	金山寺大徹堂の変容(東洋建築史:中国(1)・モンゴル、建築歴史・意匠)	学術講演梗概集、F-2、建築歴史・意匠	2007	8
鈴木佐	旧建長寺末寺考(4)-福島県会津地方・興徳寺開山鏡堂寛円とその弟子たち	鎌倉	103	6
鈴木亘	室町時代における相国寺雲頂院の松泉軒について	建築史学	49	9

須田道輝	我見・我執を捨てる（「学道はすべからく吾我をはなるべし…」など）（特集＝道元の言葉『正法眼蔵随聞記』）－（仏教者の在り方）	大法輪	74(10)	10
駿河俊博	禪と除夜の鐘	耐火物	59(12)	12
関口欣也	特集・鎌倉学・円覚寺方丈・庫裏・書院	鎌倉	103	6
関口道潤	慈悲（「道者の行は善行悪行皆おもはくあり…」など）（特集＝道元の言葉『正法眼蔵随聞記』）－（自己と他者）	大法輪	74(10)	10
曹洞宗総合研究センター宗学研究部門	共同研究『永平元禪師清規』「対大己五夏闍梨法」の出典研究	宗学研究紀要	20	3
曹洞宗総合研究センター宗学研究部門	曹洞宗関係文献目録（14）平成16年4月～平成17年3月	宗学研究紀要	20	3
外谷俊男	ふるさと歴史散歩（10）福聚山外翁院傳教寺（曹洞宗）建立－第18世禪海元信和尚の仏画絵	高井	161	11
高島英幸	円覚寺舍利殿の立体骨組モデル化とその構造挙動の分析（立体骨組の応用ほか、構造I）	学術講演梗概集	2007	3
滝田栄	邂逅－禪と茶の世界	禪文化	206	11
武田恒夫	禪院方丈画と四季表現	美術フォーラム	21	15
竹貫元勝	歴史への窓 但馬の国人と禪寺	花園史学	28	11
田島達也・村田隆志・福田道宏	江戸時代後期 禪僧と画家たち（相国寺と美術）	美術フォーラム	21	15
立松和平	鎌倉坐禅の旅－ただひたすらの坐禅（心の時代を生きる－日本人と宗教）	文藝春秋special	1(1)	7
立松和平	良寛（1）～（12）	大法輪	74(1)～(12)	1～12
田中淳夫	辺境から「今」を見る（下）地域再生に挑む禅僧の大構想 補助金は返上	農林経済	9845	2
田中仙翁	点茶求道 澤庵禅師の書状(15)	茶道の研究	52(1)	1
田中仙翁	点茶求道 澤庵禅師の東海紀行（1）～（11）	茶道の研究	52(2)～(12)	2～12
田中宏志	禅宗寺院文書の基礎的研究－十六・十七世紀の「出世」関係史料を中心に－	駒沢大学禅研究所年報	18	3

谷 端 昭 夫	日本史のなかの茶道 (3) 鎌倉幕府と禅宗の隆興 (鎌倉時代前期)	淡交	61(3)	3
塚 崎 直 樹	公案からみた禅と心理療法	トランスパーソナル心理学/精神医学	7(1)	5
辻 田 登美子	独立禅師 (黄檗山万福寺) と中国医学	黄檗文華	126	7
土 屋 誠 之	良寛禅師を世に送り出した木島平の人 - 川口蔵雲のこと	高井	159	5
戸 田 博 重 生 方 貴 重	伝世の美 数奇の心 (13) ~ (22)	茶道雑誌	71(2)~(12)2~12	
富 田 信 隆	現代人の宗教観を理解するために - 禅僧 S の活動とその周辺から	駒沢大学大学院仏教学研究会年報	40	5
富 澤 信 明	以南入水のとき良寛は何処に居たのか『美遠都久志』から分かること	良寛だより	115	1
富 澤 信 明	良寛の母の五十回忌法要	良寛だより	116	4
富 澤 信 明	おのぶと新次郎はいつ離縁したか・良寛の父は以南に他ならない	良寛だより	117	7
富 澤 信 明	良寛の曾祖父橋左門良胤は加茂の中澤平治郎である	良寛だより	118	10
虎 井 吉 雄	大乘寺と永光寺の地位について - 大乘寺開山徹通義介禅師七百回御遠忌を迎えるにあたり	石川郷土史学会々誌	40	12
内 藤 喜八郎	播磨・吉備寺の古寺を巡る (5) 大愚良寛	在家仏教	663	8
中 尾 良 信	禅とは何か (特集= 団塊世代のための仏教入門) - (第2部 仏教への誘い)	大法輪	74(4)	4
中 尾 良 信	僧堂のしきたり・作法 - 坐禅のやり方/禅堂内の席順/トイレ・洗面の作法 など (特集= 知っておきたい仏教とお寺のしきたり) - (生活に生かしたいお寺のしきたり・作法)	大法輪	74(11)	11
中 野 東 禅	心を整える (「人の心、元より善悪なし…」など) (特集= 道元の言葉【正法眼蔵随聞記】) - (人生の大事)	大法輪	74(10)	10
中 野 東 禅	出会いの道としての『学道用心集』(1) ~ (6)	大乘禅	981~990	1~11/12
西 村 恵 信	実存哲学と仏教 (特集= 団塊世代のための仏教入門) - (第1部 宗教を見直してみないか)	大法輪	74(4)	4
西 村 恵 信	一休和尚の風景	在家仏教	656	1

西村 惠 信	同仁稿稿 心のともしび(1) 茶事, 禪定の一端なり	同仁	8	1
西村 惠 信	さらに似ぬこそ哀れなる-三 余居窓話(52)	禪文化	203	1
西村 惠 信	朗らなる死-三余居窓話(53)	禪文化	204	4
西村 惠 信	アメリカで気づいたこと-三 余居窓話(54)	禪文化	205	7
西村 惠 信	プラフト神父との四十年-三 余居窓話(55)	禪文化	206	11
西山 美 香	足利義満の(宝蔵)としての 宝幢寺鹿王院-宝珠と仏牙舎 利をめぐって(特集 足利義 満の時代-六百年忌記念)	Zeami	4	6
西山 美 香	九相詩絵巻の〈物語〉-古い 作例を中心として	説話文学研究	42	7
衿 津 宗 伸	室町幕府開創期の禪律寺院領 安堵と越訴審理過程-『三浦 和田文書』貞和二年七月-九 日足利直義下知状案の再検討	古文書研究	64	10
能 勢 隆 之	礼儀・慎み(「人は必ず陰徳 を修すべし…」など)(特集 =道元の言葉『正法眼蔵随聞 記』)- (自己と他者)	大法輪	74(10)	10
野 田 大 燈	随流法(特集 私を磨いてく れたこの禅語)	禅と念仏	24	10
野 村 昭 子	黄檗高泉性激の師弟・心空庵 月峰道喜ら横山三兄弟	石川郷土史学会々誌	40	12
野 村 俊 一	中世禅宗における「造化」の 語義とその背景-瑞泉院の景 観とその意味に関する一考察	建築史学	48	3
萩 原 由 希 子	宗教と医学の新しい試み-マ インド・ボディ-メディス ンと坐禅の健康領域における 役割-	教化研修	51	4
長谷川 義 明	折々の良寛(4)~(7)	良寛だより	115~118	14,7, 10
長谷川 義 明	『校本良寛歌集』の出版につ いて	良寛だより	118	10
花 岡 永 子	禅と政治-因陀羅網を目指して	奈良産業大学紀要	23	12
晴 山 俊 英	自分を卑下しない(「身命をか へりみず発心修行する…」など) (特集=道元の言葉『正法眼蔵 随聞記』)- (自己と他者)	大法輪	74(10)	10
橋 本 憲 一	梁山泊の四季(最終回) 冬 -うまいもうろく-鶴見俊輔 さん「甲斐性」	禪文化	203	1
林 裕 子	人間禅道場の有楽流(1)(日 本文化と禅)	禅	25	

林 裕 子	有楽流茶道と茶味 (日本文化と禅)	禅	23	
腹 卷 宏 一	禅と柔道 (日本文化と禅)	禅	24	
東 隆 眞	正法眼蔵随聞記と懐奘禅師 (特集=道元の言葉『正法眼蔵随聞記』)	大法輪	74(10)	10
久 松 真 一	談話 湘山老師と現代の禅 (季刊『禅文化』二〇〇号記念特集 (七・八六号より再録))	禅文化	204	4
平 井 俊 之	妙心寺の浴室について	建築史学	49	9
平 兮 宗 賢	仙厓和尚の残した言葉に学ぶ	在家仏教	656	1
平 野 一 郎	仏教と曹洞宗代十教区寺院の開山瞥見記 (2)	郷土たじり	29	3
平 松 真 一	良寛の法妹、義堤尼 和歌の素地	良寛だより	117~8	7,10
平 塚 景 堂	弱者の思想	禅文化	203	1
平 塚 景 堂	有時	禅文化	204	4
平 塚 景 堂	泉を哭す-シューベルト考(1)	禅文化	205	7
平 塚 景 堂	冬の旅-シューベルト考(2)	禅文化	206	11
平 野 一 郎	仏教と曹洞宗代十教区寺院の開山瞥見記 (2)	郷土たじり	29	3
古 山 健 一	『赴粥飯法』における「法是食・食是法」について	宗学研究	49	4
藤 田 正 夫	『良寛和尚萬葉短歌抄』中村本は良寛自筆で写本ではない	良寛だより	118	10
藤 原 東 演	臨済宗で読まれるお経-延命十句観音経/坐禅和讃 (特集 よく聞く《お経》入門)	大法輪	74(7)	7
堀 井 美 鶴	一休さんの道歌と現代短歌 (1) (日本文化と禅)	禅	25	
堀 内 宗 心	お茶を教えるということ	禅文化	204	4
堀 内 宗 心	参禅の日々	禅文化	205	7
堀 内 宗 心	宗旦の禅 (特集 元伯宗旦 三百五十年忌によせて)	茶道雑誌	71(11)	11
前 川 睦 生	坐禅 (「古人の行李にしたがうて祇管打坐すべきなり…」など) (特集=道元の言葉『正法眼蔵随聞記』) - (仏教者の在り方)	大法輪	74(10)	10
町 田 廣 文	大而宗龍禅師の授戒会による民衆教化	教化研修	51	4

松竹寛幸	僧堂生活に関する心理学的考察-雲水生活のQOLと気分・感情状態について-	教化研修	51	4
松田高志	教育の前提としての三つの「信」	禪文化	206	11
松原泰道	閑古錘	在家仏教	663	8
松原哲明	『般若心経』はなぜ読まれ続けているのか 現代人のための禪入門 (特集「宗教的生活」のすすめ)	中央公論	122(3)	3
松原哲明	因果, 我慢, 一心, 出世, 徹底, 知識, 邪魔, 縁起, 往生……自分を救う・「どんな困難にも道あり」禅語の手引き (特集「仕事に役立つ「歴史・古典」入門)	プレジデント	45(3)	1
丸川春潭	「三昧」の深さ	禪	25	
丸川春潭	驢鞍橋講話 (第5話) 出家は古則を守り習うがよき也	禪	25	
丸川春潭	驢鞍橋講話 (第4話) (1) 命を捨ててやるべし (2) いつも真剣勝負	禪	24	
丸川春潭	驢鞍橋講話 (第3話) 佛像を手本に修すべし	禪	23	
水野隆徳	国際エコノミストから禅研究の道へ	禪文化	205	7
皆川廣義	他者との関係 (「一切衆生を一人の子のごとく憐れむべし…」など) (特集=道元の言葉「正法眼蔵随聞記」) - (自己と他者)	大法輪	74(10)	10
宮前本川健次	庭園散策 (29) 円覚寺	短歌研究	64(10)	10
村上泰昭	佚山禅師の肖像画と書画	史迹と美術	77(10)	12
村野真作	建長寺の釈迦三尊図 (市指定文化財) と十六羅漢図 (重要文化財)	鎌倉	104	12
谷沢栄一	本好きな人好き (211) 男道楽色懺悔 下山京子「一葉草紙」秋山悟庵「禪と英雄」	國文學	52(4)	4
安永祖堂	曹源池	禪文化	203	1
安永祖堂	識羞両字をめぐる	印度學佛教學研究	56(1)	12
安永祖堂	禅における一なるもの (特集「禅と現代心理学の新潮流 (2)」)	トランスパーソナル心理学/精神医学	7(1)	5
安永祖堂	師匠とその弟子	禪文化	204	4

安永祖堂	朝霧から洩れてくる虫の音の ように	禅文化	205	7
安永祖堂	孤独地獄	禅文化	206	11
山下隆司	私の陶芸 (日本文化と禅)	禅	23	
山田史生	俗人, 禅籍を読む	東方	313	3
柚木祖元	「坐禅の心」について-「花 供養御詠歌 (供華)」の歌詞 解説に関連して-	教化研修	51	4
山本輝雄	九州地域における黄檗派の禅 宗寺院のついでに建築史研究 と建築論研究の両研究での一 目標: (京大・九大名誉教授) 前川道郎博士の訓 (おしえ) に触発されて (歴史・意匠)	日本建築学会研究 報告. 九州支部	46	3
横井教章	葬送儀礼の構造とその宗教的 特性に関する一考察	宗学研究紀要	20	3
吉川忠夫	柳田聖山先生を偲ぶ (特集 追悼 柳田聖山先生)	禅文化	203	1
吉永進一	明治の仏教的精神療法: 平井 金三『三摩地』を中心に	宗教研究	80(4)	3
李建華	聖域巡礼 (8) 私の目から見 るチベット 第二部 東チ ベット (シャングリラからラ サ) へ行く (3)	禅文化	203	1
李建華	聖域巡礼 (9) 私の目から見 るチベット (第2部) 東チベ ット (シャングリラからラサ) へ行く (4)	禅文化	204	4
李建華	聖域巡礼 (10) 私の目から見 るチベット (第2部) 東チベ ット (シャングリラからラサ) へ行く (5)	禅文化	205	7
李建華	聖域巡礼 (11) 私の目から見 るチベット (第2部) 東チベ ット (シャングリラからラサ) へ行く (6)	禅文化	206	11
柳宗悦	「井戸」と「楽」(季刊『禅文 化』二〇〇号記念特集 (七・ 八六号より再録))	禅文化	204	4
良知文苑	弘川寺にもあった八十吉苑の 良寛消息	良寛だより	115	1
林玉壽	心敬と歌道・仏道修行と「禅」 (終刊号)	筑波大学平家部会 論集	12	3
涌井茂	良寛尊像つれづれ (77)~(80)	良寛だより	115~118	1,4,7, 10
渡部正英	善寶寺開基妙達上人の坐禅石 について	宗教研究	80(4)	3

## 〔書評〕

Sherry Fowler	Gregory P.A. Levine <i>Daitokuji: The Visual Cultures of a Zen Monastery</i>	Japanese Journal of Religious Studies	34(2)	秋
加藤 みち子	書評 中尾良信著『日本禪宗 の伝説と歴史』(吉川弘文館, 二〇〇五年)	花園大学文学部研 究紀要	39	3
楠井 隆志	書評 錦織亮介著『黄檗禪林 の絵画』	デアルテ	23	
清水 智樹	書評 西尾賢隆著『中国近世 における国家と禪宗』	仏教史学研究	49	2
竹貫 友佳子	書評 中尾良信著『日本禪宗 の伝説と歴史』	洛北史学	9	6
竹村 牧男	上田閑照監修／北野裕通・森 哲郎編集, 『禅と京都哲学』, 京都哲学撰書別巻, 燈影舎, 二〇〇六年八月三〇日刊	宗教研究	81(3)	12

〔栗本真好・白川邦與編〕